２０２２年３月１５日

ロシア大統領　ウラジミール・プーチン　殿

在日ロシア大使　ミハイル・ユリエビッチ。ガルージン　殿

ウクライナ侵攻に強く抗議します

長野県生活協同組合連合会

2月24日、貴国はウクライナへの軍事侵攻を行いました。

今回の暴挙は、国家による武力の行使を禁止する国際法の原則を逸脱したものであり、ウクライナの人々の生命および安全に対する権利を深刻に侵害するものです。こうしている今も、市民の生活が脅かされ、多くの命が失われていくことに強い憤りを表明します。

また今回の一連の事態の中で、プーチン大統領が核兵器使用を示唆したとされることは、戦争被爆国である日本の市民として断じて容認することができません。平和とよりよいくらしの実現を願い、核兵器廃絶にむけて取り組みを続けてきた生活協同組合として強い懸念を表明します。

長野県生協連は「戦争と暴力のない世界の実現」にその事業を通じて貢献することを重要課題として掲げています。日々の生活の営みの尊さ、大切さを私たちは改めて噛みしめ、ウクライナの市民、そして必ずしもこの軍事侵攻を支持しているものではないロシアの市民が、日常生活を一日も早く取り戻すことを願います。

世界の平和と国際秩序の根幹を揺るがす、道理のない軍事侵攻をただちに中止し、対話による平和的手段で問題を解決することを求めます。

以上